



1. 津波防災マップについて

(高台避難が原則です。津波が直ぐに襲来するときは時間的余裕がないと判断して直ちに、いずれかの津波避難ビルを利用して下さい。)

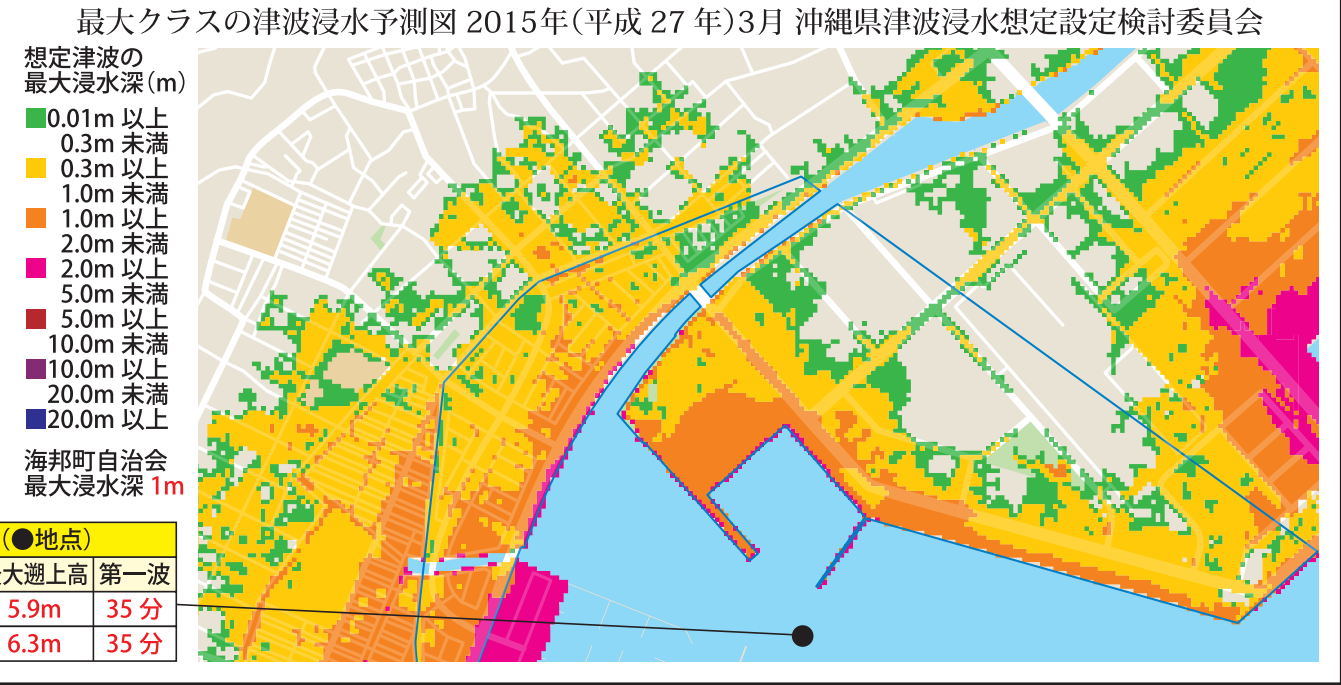
朱線は、高台までの津波避難経路です。海邦町自主防災会では**車椅子**と**徒歩**による避難所要時分と距離を測定しました。なお、海拔 15m以上は黒数字、以下は赤数字と表記してあります。

①の時間**車椅子**で約 28 分 距離約 1,500m ②の時間**車椅子**で約 36 分 距離約 1,540m ③の時間**徒歩**で約 19 分 距離約 1,220m (矢印部分、車椅子通行不可)
④の時間**車椅子**で約 20 分 距離約 1,410m ⑤の時間**徒歩**で約 15 分 距離約 1,007m

2. 津波浸水予測図について

沖縄県では、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波として上記のとおり平成 27 年 3 月、新たに公表しました。なお、最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水域以外でも浸水する可能性があります。

右表の海邦町地点最大水位⑤の震源域は沖縄本島南東沖、⑥の震源域は、沖縄本島東方沖でいずれも想定マグニチュードが 8.2 となっています。

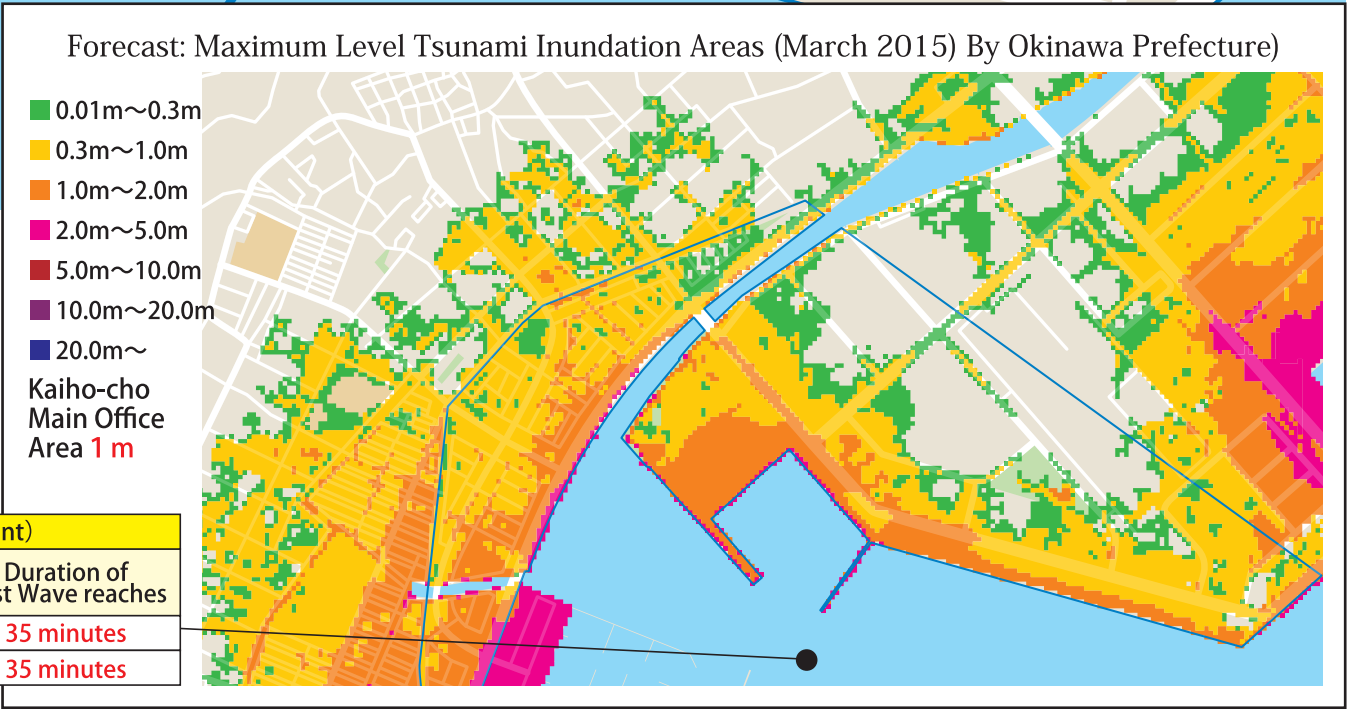




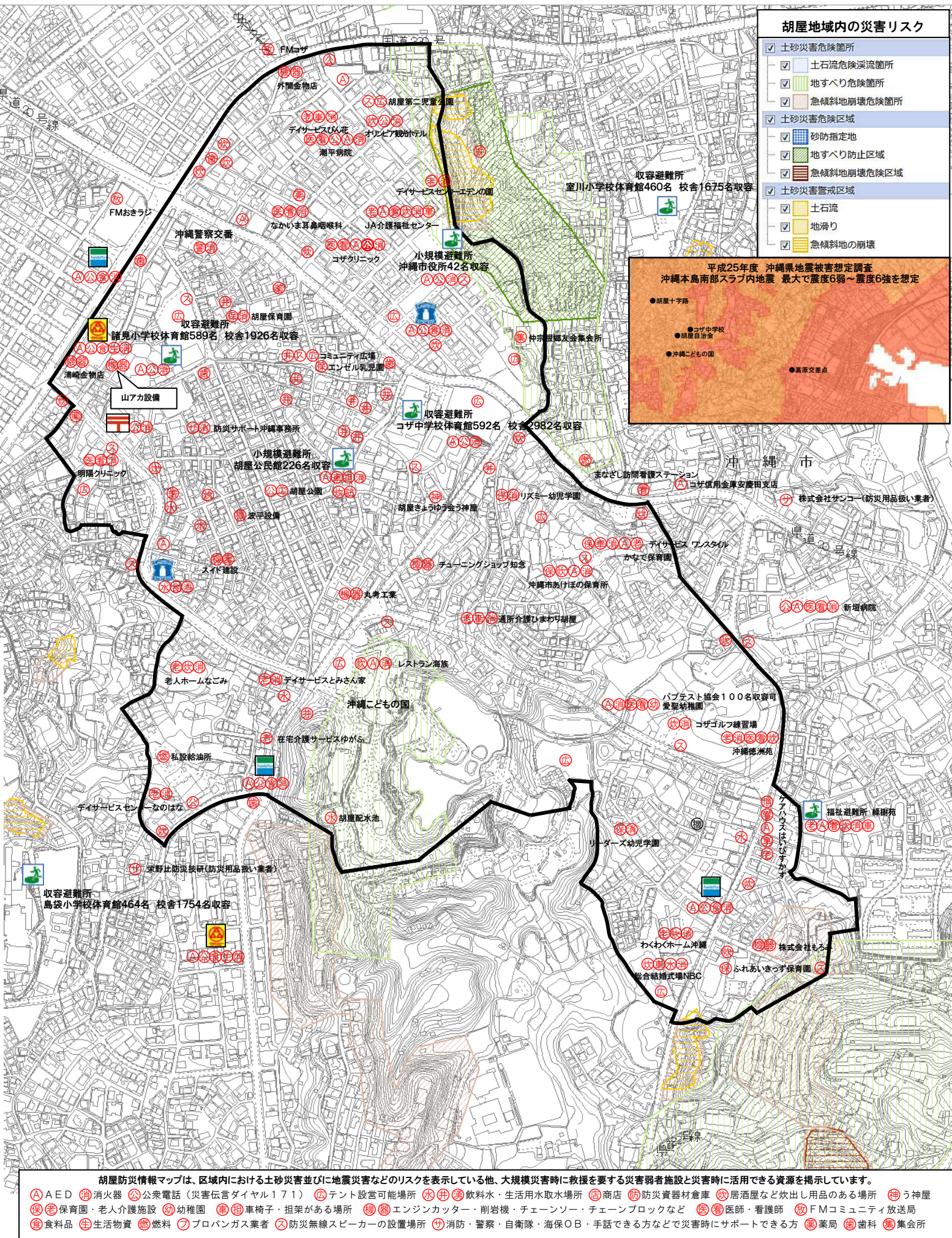
About This Map

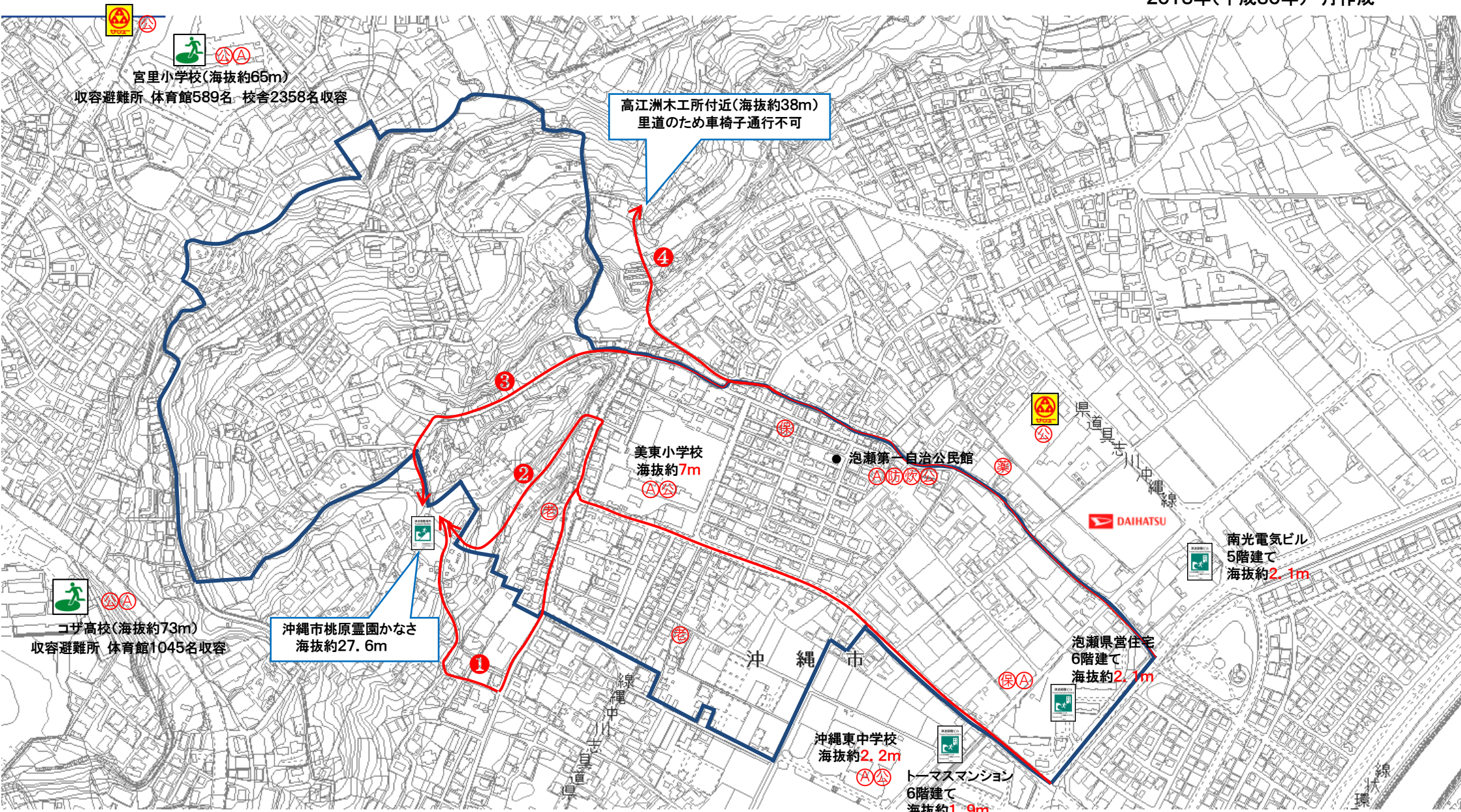
(First run up/evacuate higher places/buidlings! If you don't have enough time to go further, immediately go/use the buildings listed marked in green.)

Red lines on this map show the evacuation route to heights (higher locations) as examples. The Kaiho-cho Voluntary Disaster Prevention Committee actually measured the durations and distance by walking and wheel chairs. More than 15m above sea level in black and less than 15m above sea level in red, ❶ takes approx. 28 minutes **by Wheel chairs**, approx. distance1,500m, ❷takes approx. 36 minutes **by Wheel chairs**, approx. distance 1,540m, ❸takes approx. 19 minutes **by Wheel chairs**, approx. distance1,220m (-> sign shows the area not for wheel chairs.), ❹takes approx. 20 minutes by Wheel chairs, approx. distance1,410m, ❺takes approx. 15 minutes **by Wheel chairs**, approx. distance1,007m.



This is a Forecast for Max. Tsunami Inundation which is based on Magnitude 8.2 /Epicenter South East Area on Okinawa.
This is only for forecast being subject to all factors.

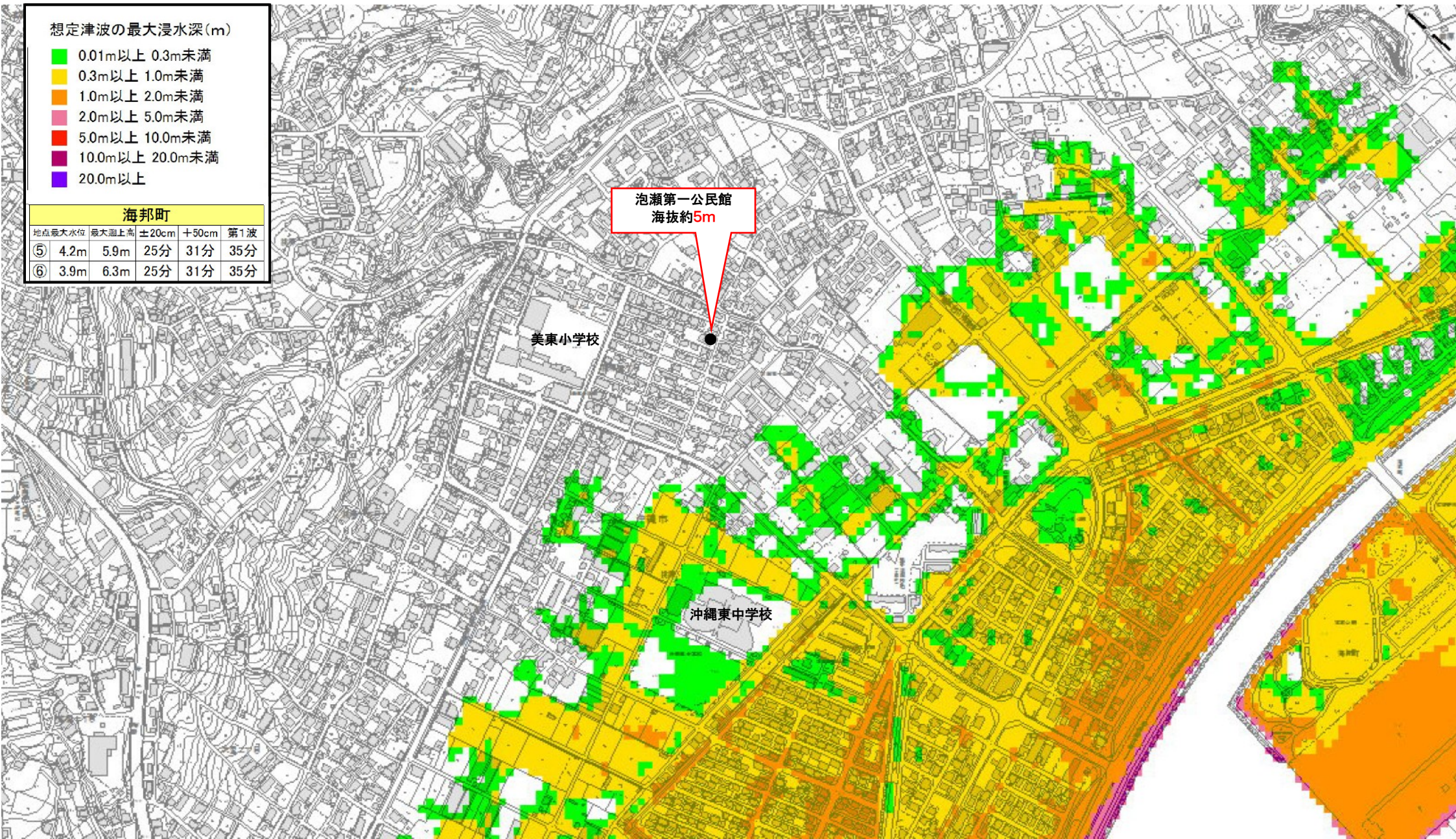




1 津波災害防災マップについて

赤線は、津波避難経路とし、一時避難場所又は高台までの距離を指す。泡瀬第一自主防災組織では徒歩での避難所要時分を測定し、次のとおりとした。なお、海抜 15m以上は黒数字、以下は赤数字と表記してあります。
①の距離約1200m 避難所要時分約20分 矢印部分の海抜約27.6m ②の距離約700m 避難所要時分約18分 矢印部分の海抜約27.6m ③の距離約900m 避難所要時分約16分 矢印部分の海抜約27.6m
④の距離約645m 避難所要時分約13分 矢印部分の海抜約38m
凡例： (A) AED (公) 公衆電話 (防) 防災倉庫 (保老) 保育園・老人福祉施設 (炊) 炊き出し用品 (無) 防災無線 (薬) 薬局

最大クラスの津波浸水予測図 2015年(平成27年)3月 沖縄県津波浸水想定設定検討委員会



2 津波浸水予測図について

沖縄県では、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば大きな被害をもたらす津波として上記のとおり平成27年3月、古文書に基づき新たに公表しました。
なお、最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水域以外でも浸水する可能性があります。
上表の海邦町地点最大水位⑤の震源域は、**沖縄本島南東沖**、⑥の震源域は、**沖縄本島東方沖**でいずれも想定マグニチュードが**8.2**となっています。